

吉田幸一校

清忠之系

常縁本

古典文庫

吉田幸一校

清史稿

常綠本

古典文庫

古典文庫 第一四九冊

昭和三十四年十二月二十日 印刷發行

非売品

校者 吉田幸一

東京都北區西ヶ原三ノ三四

編者兼
發行者 吉田幸一

草れづれつ
本縁常

東京都千代田區神田三崎町二ノ六

印刷者 英和印刷株式會社

發行所

東京都(豐島局區内)
北區西ヶ原三ノ三四

古典文庫

振替口座東京一四五九七番

ちを感りし月を懐きたるは万物の
 いづれ月といふもあて春の来と
 りあまの夜も情あかり　語つた花は
 ぬこもさかりた　又所をけし平
 つぶるに　事人か　け　ちりこ
 け　さ　さ　りて　て　書か
 ぬ　て　さ　さ　さ　さ　さ　さ　さ　さ
 月のかさ　さ　さ　さ　さ　さ　さ　さ
 ち　さ　さ　さ　さ　さ　さ　さ　さ

ともたけの所へてふうね萬年山と
 しめとらふにけしき男女の情もい
 りなると物ありそ屋にせえは人
 らさるゝ楽とかつち長夜となむあゝ遠く
 と井とたひたり浅茅の宿り者なり
 いそぎふくやういそぎふく月を海にたふ
 雲のふりて旅ちよりと曉近きものぞ
 待てよふかやうをぬくあけなきをいそ
 もふかの梢にてよふ本ばかりのむけならん

くみよじりやうにれんをくへる推集
ていふはあまのたふさく身ありて
あしき世に非れ主なりと云ふも
月あるついでめて人物をいふが
けり月つ火国の由りも何なるか
なかりたりけり人をかきたる
こと直に心にもあらぬ田舎此
人のあそび物としててもよし
狂ひたるより果てゝあつたて酒

[illegible]

とてはるる出づるをけしむるにふくむるを
しむるをけしむるをけしむるをけしむる
をけしむるをけしむるをけしむるを
けしむるをけしむるをけしむるを
けしむるをけしむるをけしむるを
けしむるをけしむるをけしむるを
けしむるをけしむるをけしむるを
けしむるをけしむるをけしむるを
けしむるをけしむるをけしむるを

[illegible]

ちかきこゝろにふくみこゝろにふくみこゝろに
我身こゝろにふくみこゝろにふくみこゝろに
こゝろにふくみこゝろにふくみこゝろに
こゝろにふくみこゝろにふくみこゝろに
こゝろにふくみこゝろにふくみこゝろに
こゝろにふくみこゝろにふくみこゝろに
こゝろにふくみこゝろにふくみこゝろに
こゝろにふくみこゝろにふくみこゝろに
こゝろにふくみこゝろにふくみこゝろに
こゝろにふくみこゝろにふくみこゝろに

とてはすべしとて思ふに
よのまゝにやとて思ふに
なほしやとて思ふに
おほしやとて思ふに
おほしやとて思ふに
おほしやとて思ふに
おほしやとて思ふに
おほしやとて思ふに
おほしやとて思ふに
おほしやとて思ふに

一五六

ありて早とて先聞やあはるる事
 なる若くは海軍此の事なりと
 其北の事なりと軍は陣北と
 大長は大強食とる（責）中
 小の事なりと活乃た大長
 小の事なりと活乃た大長
 て他所の事なりとる事
 なる事なりとる事

一五七

にたゞしめて禪定成し事理をわきまに
し外相をわきまにせしめて内証をす證とせし
井く不信といふすあまきそ足とたしし

一五八

孟分よりある事と云はれざるあるが故
ゆゑに其疑當にトの如くといふかゝるまゝと
もあらずト仰るゝ其の如く通達と所と張
とをわきまにせしめてあまきそ足とたしし

一五九

かにしめてあまきそ足とたしし
其の如く通達と所と張とをわきまにせしめてあまきそ足とたしし

常由て餌をたぐふをいふげすなり
もく入るはぬふもふりてたふふて
はふはふはふはふはふはふはふはふ
草ふふふふふふふふふふふふふふ
たふふふふふふふふふふふふふふ
はふはふはふはふはふはふはふはふ
ふふふふふふふふふふふふふふ
獄やふふふふふふふふふふふふふ
太衛ふふふふふふふふふふふふふ

[illegible]

一六四

[illegible]

一六五